

向陽 SSH NEWS 第12号



編集：向陽高校SSH事務

第4回きのくに科学オリンピック～科学の甲子園和歌山県予選～ 「向陽β」第3位入賞



11月3日、15日に「第4回きのくに科学オリンピック～科学の甲子園和歌山県予選～」がメディアアートホールで行われました。

向陽からは高校2年生と高校1年生からそれぞれ1チームの合計の2チームが参加し、他校の生徒と科学の知識、活用能力、ものづくりの力について競い合いました。

11月3日は、筆記競技の部で物理・化学・生物・地学・数学・情報の知識をおよび知識の活用を問う問題でした。

11月16日は、実験競技と総合競技の部が行われました。実験競技の部では、三人一組で用意された器具で作成した簡易分光器を利用し、様々なランプの光のスペクトルの測定と観察したスペクトルをもとに複雑な課題を解いていく競技でした。総合競技の部では、三人一組でその場で与えられた材料(コーヒーフィルター、糸、おもり等)だけでパラシュートを作り一定の高さから投下する競技でした。滞空時間がどれだけ長くできるか、目標地点にどれだけ近い位置に落ちるかの2つのポイントで得点を競いました。出場選手全員が見守る中、2階の踊り場の上から、各チームいろいろと趣向を凝らしフィルターで作成したパラシュートを投下していました。



実験競技、総合競技ともに生徒達は困難な課題に力を合わせながら取り組んでいました。その後、近畿大学生物理工学部人間工学科の中川秀夫先生の特別講義「ロボットの時代がやってくる」で、これからのロボットが活躍する未来について教えていただきました。

表彰式では、総合点で残念ながら県代表は逃しましたが、本校から出場の高校2年生のチーム「向陽β」が第3位に入賞し、表彰されました。

平成27年度 中高合同ゼミ 開催 (環境科学科1年 中学3年)

11月13日(金)の4・5限、SSH中高合同ゼミが行われ、環境科学科1年生と向陽中学3年生が以下の講座①～講座⑤の5つのゼミに分かれて参加しました。中学生と高校生が同じ実験室で隣りに座り、共同で大学の研究者から科学を体験的に学習することで、互いに刺激を受け、学び合う姿勢を育成することを目的にしています。受講した生徒からは内容が面白かったという感想が多数あり、自然科学への興味・関心をより高めることができたと思います。



左から
講座①
講座③
講座⑤
の各先生による
講義の様子

中高合同ゼミ 講座内容

- 講座① 紀ノ川平野の生いたちと地震災害
- 講座② 数学の未解決問題に挑戦
- 講座③ 身の回りの化学
- 講座④ 身のまわりの先端技術のお話
- 講座⑤ DNAを鑑定しよう

- 和歌山大学教育学部教授
- 和歌山大学教育学部講師
- 和歌山大学システム工学部教授
- 和歌山大学システム工学部講師
- 近畿大学生物理工学部教授
- 講師

- 久富邦彦 先生
- 北山秀隆 先生
- 坂本英文 先生
- 幹浩文 先生
- 加藤博己 先生
- 高木良介 先生